

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

鳥インフルエンザ (AI) の発生に伴う対応状況

(高敞郡 海里面の届出農家 (1月21日) 関連)

(2014年 1 月21日13時30分付け 農林畜産食品部プレスリリース)

出典URL: http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155445268§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2014&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳に基づく仮訳)

1月21日に疑い事例が届出された全羅北道 高敞 (コチャン) 郡 海里面 (ヘリミョン) の肉用あひる農家 (1万1,200羽) は、初発の届出農場 (高敞郡) から西南に19km離れたところに位置している。

この農場は、2件目の発生農場 (扶安 (プアン) 郡) と同一の農場主が運営する肉用あひる農場であり、1月11日、扶安の農場と今回の届出農場間で飼料運搬車が往来した事実が、畜産車両GPSの分析 (1月18日) の結果明らかとなった。また、1月19日以降は本農場の移動制御が行われたと、農林畜産食品部は表明している。

農林畜産食品部は、今回の追加の届出は、AIの拡散を意味するものではないと述べている。

現在、農林畜産検疫本部では、AIの検査中であり、高病原性かどうかの検査結果は、1月23日の午後に出る予定だと明らかにした。

※本情報は、韓国農林畜産食品部公表情報が、1月21日に公表した情報について、機械翻訳に基づき仮訳したものです。

注意: 本プレスリリースは1月21日15時付けの韓国農林畜産食品部プレスリリースで訂正されています。